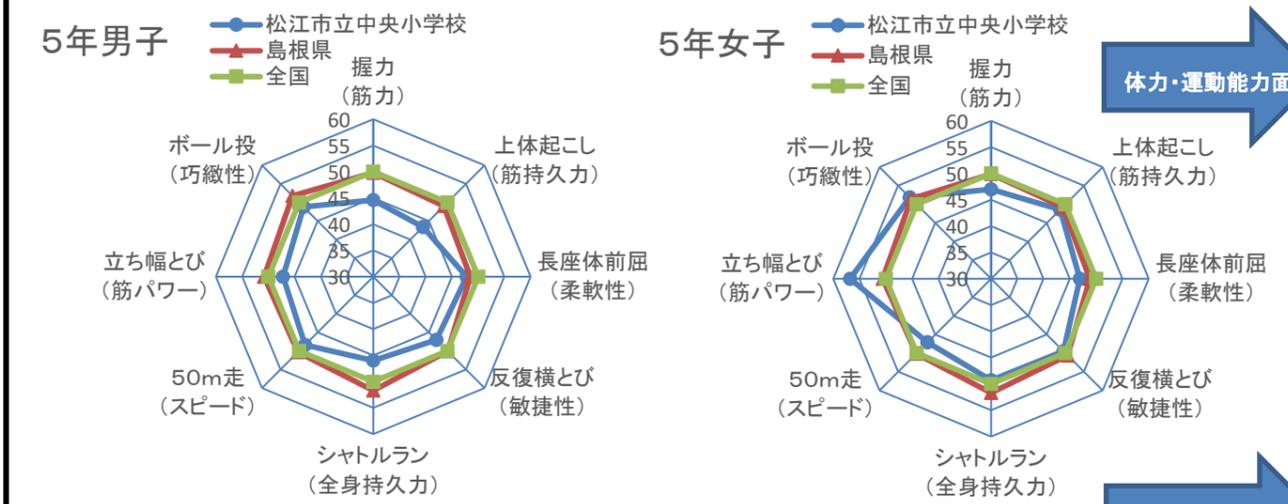
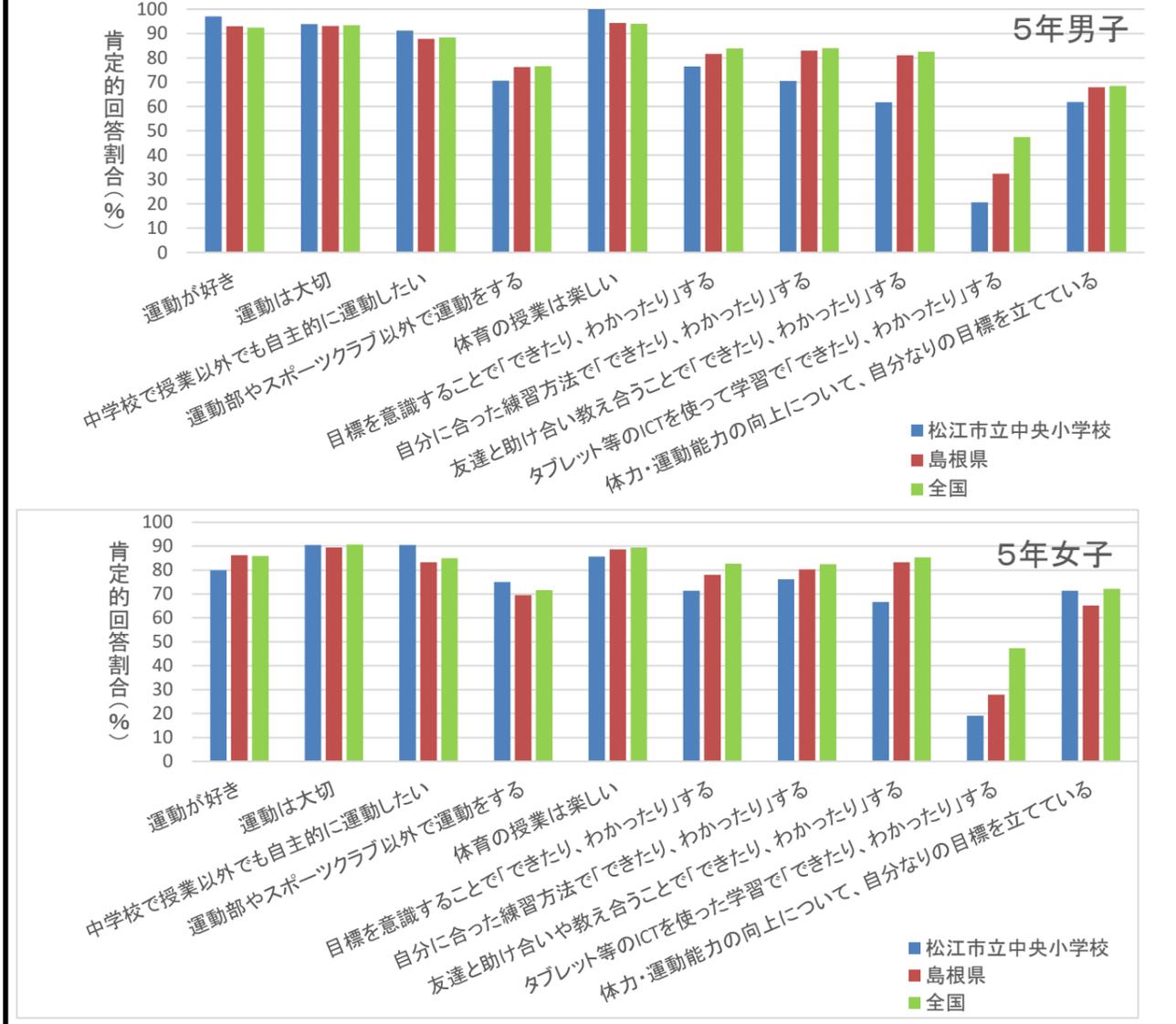


(1) 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果 (体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-5.4	-6.6	-2.2	-3.0	-4.0	-1.6	-2.8	-1.2
女子	-3.0	-1.4	-3.1	-0.5	-0.7	-2.9	6.8	1.9

[-5p以上] [-5~-2p] [-2~0p] [0~2p] [2~5p] [5p以上]
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	運動部やスポーツクラブ以外で運動をする	授業は楽しい	目標を意識することでできたりわかったりする	自分に合った練習方法でできたりわかったりする	友達と助け合い教え合いできたりわかったりする
男子	4.7	0.5	2.8	-6.0	6.0	-7.4	-13.5	-20.8
女子	-5.9	-0.2	5.5	3.4	-3.8	-11.3	-6.3	-18.6
男子	-26.9	-6.7						
女子	-28.3	-0.8						

タブレット等のICTを使った学習でできたりわかったりする
体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てている

[-7%以上] [-7~-3%] [-3~0%] [0~3%] [3~7%] [7%以上]
弱み ← → 強み

(3) 令和5年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
 - ・年度初めに本校独自の実践の一つである「中央っ子エクササイズ」の職員研修を実施する。
 - ・体育の授業づくり(場の設定など含む)の資料と「中央っ子サーキット」の資料を使い、年度初めに共通理解を図る。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
 - ・「中央っ子サーキット」を体育の時間に計画的に取り入れ、1~4年の段階で基礎となる「柔軟性」「支える」「バランス」「逆さ・回転」「投げる」要素について系統的に取り組み、高学年につなげる。
 - ・スポーツテストの弱い部分を鍛える動作を授業前に取り入れる。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
 - ・年間を通して全校一斉に5校時始業前の5分間を体づくりの時間として「中央っ子エクササイズ」を行う。
 - ・「ちゅオリンピック」を全校活動で年間3回程度実施し、「支える」「構える」「調整する」力を育む。
 - ・階段の登りで1段飛ばしを推奨し、体力の向上に努める。
 - ・「体づくり」に関する掲示を作ったり、「ちゅオリンピック」などの活動の様子をホームページに掲載したりして、児童・保護者・地域に対する啓発を行っていく。
 - ・校舎内や校庭の環境整備、器具の安全点検を行う。
 - ・食の学習ノートを効果的に使い、学校給食センターとも連携し、食育の推進をする。
 - ・委員会によるスポーツイベントの実施や学級活動でのスポーツ大会の企画など参加の場を増やす。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
 - ・運動会が「体づくり」の取組及び体育授業の成果発表の場であることの共通理解を深め、全校ブリッジと片足バランスを実施することで、保護者や地域への啓発の場とする。
 - ・学校保健委員会の中で、地域・学校・家庭が本校児童の生活や運動習慣についての実態や課題を共有する。
 - ・メディアコントロールウィークの継続的な実施と保護者との連携を通して、生活や運動習慣の意識付けや改善を図る。